

## 平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「心臓病患者のための緊急対応改善計画」引渡式

2018年3月20日、山崎大使はキングストン市のカリブ心臓協会（HIC）基金本部にて行われた、平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「心臓病患者のための緊急対応改善計画」の引渡式に出席しました。引渡し式にはクリストファー・タフトン保健大臣、ジャネット・オリガ在ジャマイカナイジェリア大使、同協会アーネスト・マドゥ理事長、同協会関係者、近隣の病院関係者など約50名が出席しました。

同協会は当国の死因第一位である心血管疾患の患者に緊急対応するために2005年に設立されましたが、同協会は救急車をキングストン市に2台有するのみで、ジャマイカ全土で年間11,000件にもものぼる緊急電話に十分に対応できない状況が続いていました。

本プロジェクトにより、心電図、除細動器、人工呼吸器等を搭載した心血管疾患用の救急車2台が供与されました。今まで緊急対応外だった地方に居住する心血管疾患患者が、救命救急処置へアクセスできるようになることが期待されています。

マドゥ教授は大使および大使館員のリーダーシップによって実現した、日本からの惜みない援助に謝意を表しました。また、HICは心血管疾患への対応設備がジャマイカで一番優れており、包括的な治療ができるという自信があり、今後もより多くのジャマイカの人々を助けていきたいと述べました。

タフトン大臣は、ジャマイカにおいて民間と公共、両分野に対して意義深い資金援助を続けている日本政府と日本の人々に対する謝意を表しました。さらに、ジャマイカの医療システムネットワークを形成するための中核設備を発展させたいというジャマイカ政府の今後の目標を述べました。

山崎大使は、供与された2台の救急車が心血管治療を必要としている地方部の患者の役に立つことを嬉しく思っており、ジャマイカの医療分野の発展のために援助することは、日本政府にとって今後も最優先事項であると述べました。



カリブ心臓協会基金マドゥ理事長へ救急車の鍵を引き渡す山崎大使



日本政府により供与された2台の心血管疾患用救急車



マドゥ理事長に救急車内の医療機材の説明を受ける山崎大使とタフトン大臣



救急車内に備え付けられた心血管疾患用医療器材



山崎大使による挨拶



日本からの援助に謝意を示すタフトン大臣